

# 県仏通信

第6号

平成24年2月発行  
 発行者 新潟県仏教会長 加藤朝雄  
 新潟県仏教事務局長 阿部正機  
 事務岡住所  
 〒950-0847  
 新潟県新潟市秋葉区古津6015大寺内  
 電話 0250-22-4136  
 FAX 0250-22-4133  
 印刷所 有限会社主徳印刷所

## 御挨拶

新潟県仏教会長 加藤朝雄

平成二十四年となりました。昨年は地震や津波それに原発事故が重なり、その後始末で大変な一年でした。復興に向けた活動は、今年ばかりでなく、数年いや数十年続けなければならぬでしょう。

この件に関して、県仏会長は全日本仏教会による大震災慰霊法要に参加して参りました。全日本仏教会報告書より新潟県仏教会長に關わる部分を抜粋して報告に代えさせて頂きます。11月17日(木) 相馬市バス視察及び慰霊法要

①当日、強風の為福島空港到着便の欠航及び、東北新幹線のダイヤが乱れた為、定刻の出発が叶わず、1時間遅れの13時に郡山駅前バスターミナルを出発。相馬市へは加盟団体代表者24名と事務総局6名で合計30名が参加。到着までバス車内において福島県の被災地の現状を青木かおる(福島県事業協同組合理事長)氏より伺う。

た津波により亡くなった方のため、全津波が遺体搬送や棺の手配等、全力で支援をしたことや、福島第一原子力発電所事故により発生した放射能漏れ事故により、県外への避難者が後を絶たず、復興の兆しすら見えない現状を語られた。今後は希望を失いつつ日々を送る被災者たちへの心のケアが必要となる。仏教者の皆様の力添えを願うと述べた。15時40分、相馬市到着。相馬市役所において青田勉(相馬市民生部長)氏にもバスに同乗いただいた。被災地を案内してもらう。広大な敷地の瓦礫一時保管場所や、殆ど手付かずのまま放置されている漁港などをバスより視察。今もなお地盤沈下の為浸水する地域もあり、復興対応が遅れている旨説明を受ける。また、津波で壊滅的被害を受けた原釜・尾浜地区において加藤朝雄(新潟県仏教会長)師に経那をお勤めいただき参加者全員で「法要」を執り行った。約1時間の現地視察の後、相

馬市を後に懇親会会場となる郡山あおき斎苑へ向かう。現地到着は19時。到着後懇親会開催。話は変わりますが、県仏通信第六号を発行するに当たり、皆様からの投稿文を募集いたしました。「最近の葬式論について」「カルト宗教の威威と仏教会について」「仏教会の組織について」など、なんでも結構だったのですが、残念ながら、今回は応募がありませんでした。そんな事情で、今回は無理を頼める人から書いてもらったものを掲載いたしました。また、皆様からの応募は、何時でも構いません。締め切りは設定しませんので、いつでもご応募ください。次回に載せたいと思います。

ところで、各市町村の仏教会によりましては、役員交代がいわゆる年度(4月13月)ではなく、12月とか他の月に行われる地区があります。すみませんが、役員交代の折には、県仏の方へも通知くださいますようお願い申し上げます。ちなみに県仏は4月から3月までで、会長・副会長の任期は2年となっております。再任は妨げませんが、3期連続して在任することは出来ません。

そんなことで、地盤の任期はあと1年です。4年目の最後をどう務めるか? 皆様の御指導を得て、勤め上げたいと思っておりますので、今後ともご指導ご協力くださいますようお願い申し上げます。ありがとうございます。

— 日本の心をカタチに —

www.yoshiundo.co.jp



# 吉運堂

本社 新潟市南区戸頭1347-1 TEL 025(372)1138(代)

寺院用具 | お仏壇 | 墓石

新潟県で  
**No.1** ・22店舗ネットワーク  
 ・専門資格保有数160

寺院用仏具・仏壇・製造修復販売



# 放光

● 本社・工場

〒940-0825 新潟県長岡市高畑町617

TEL 0258(33)5644 FAX 0120-174176

● 新潟店

〒950-0941 新潟県新潟市中央区女池2-2-11

TEL 025(280)1550 FAX 025(281)8790



金・ムだより



## 原発事故により福島県内の菩提寺と連絡がとれない方々の電話取次開始

全日本仏教会では、原発事故によって避難を余儀なくされた各ご寺院と、地域住民の方々との連絡取次を12月12日～16日に行いました。

取次期間中は、加盟団体青年僧を中心としたボランティアスタッフにお手伝いをいただき、様々な問い合わせについて、対応いたしました。また、期間終了後も引き続いて電話取次を行っております。お問い合わせは(03-3437-9275)までご連絡ください。

なお、本取り組みは、12月1日に記者会見を開催し、TV、ラジオ、新聞各紙、インターネット等で広報されました。



ボランティアスタッフによる電話取次が行われた

「原子力発電によらない生き方を求めて」宣言文をプレスリリース  
全日本仏教会では、「いのち」を脅かす可能性をもつ原子力発電に依らない持続可能なエネルギーによる社会の実現を目指すべく宣言文をプレスリリース致しました。

### 宣言文

### 原子力発電によらない生き方を求めて

東京電力福島第一原子力発電所事故による放射性物質の拡散により、多くの人々が住み慣れた故郷を離れ、避難生活を強いられています。避難されている人々はやり場のない怒りと悲しみ、不安の中、苦悩の日々を過ごされています。また、乳幼児や児童をもつ多くのご家族が子どもたちの放射線による健康被害を心配し、「いのち」に対する大きな不安の中、生活を送っています。本範囲に拡散した放射性物質が、日本だけでなく地球規模で自然環境、生態系に影響を与え、人間だけでなく様々な「いのち」を脅かす可能性は否めません。

日本は原子爆弾による世界で唯一の被爆国であります。多くの人々の「いのち」が奪われ、また、一命をとりとめられた人々は現在もなお放射線による被害で苦しんでいます。同じ過ちを人類が再び繰り返さないために、私たちは日本人はその悲惨さ、苦しみをおしえて「いのち」の尊さを世界の人々に伝え続けています。

全日本仏教会は仏教精神にもとづき、一人ひとりの「いのち」が尊重される社会を築くため、世界平和の実現に取り組みしてまいりました。その一方で私たちはもつと快速に、もつと便利にと欲望を拡大してきました。その利便性の追求の陰には、原子力発電所立地の人々が事故による「いのち」の不安に脅かされながら日々生活を送り、さらには貴の遺産となる幾億不可能な放射性廃棄物を生み出し、未来に問題を残しているという現実があります。だからこそ、私たちはこのような原発事故による「いのち」と平和な生活が脅かされるような事態をまねいたことを深く反省しなければなりません。

私たちは全日本仏教会は「いのち」を脅かす原子力発電への依存を減らし、原子力発電に依らない持続可能なエネルギーによる社会の実現を目指します。誰かの犠牲の上に成り立つ豊かさを願うのではなく、個人の幸福が人類の幸福と調和する道を選ばなければなりません。

そして、私たちはこの問題に一人ひとりが自分の問題として向き合い、自身の生活のあり方を見直す中で、適切な物質的欲求から脱し、足ることを知り、自然の恵みで満足である生活の実現にむけて改善を尽くし、一人ひとりの「いのち」が守られる社会を築くことを宣言いたします。

二〇一一年（平成二十三年）年十二月一日

財団法人 全日本仏教会



財団法人 全日本仏教会  
WFB(世界仏教徒連盟)日本センター

〒105-0011  
東京都港区芝公園4-7-4 明照会館2F  
電話 03-3437-9275 FAX 03-3437-3260  
http://www.jbf.ne.jp/  
E-mail info@jbf.ne.jp

## 布教に使った

【聞いて学ぶ仏教講座】

## 【四方四維 四方八方】

「四方の山」と言うときの四方は、東西南北の方向つまり全ての方向のことですね。四方仏とは東南西北に住する仏であり、四方僧とは四方の各地より集まる全ての僧のことを言います。

全ての方向は又、四方四維とか四方八方とも表現されてきました。四維（しゆい・しい）とは東南西北の中間、すなわち乾坤艮巽（西北・西南・東北・東南）のことで、天地の四隅にあたります。糸綯の緯は、天から地を吊り下げている綱を表すのだそうですね。昔の人は、この世界を綱世界と捉え、私たちは天からぶら下がっている器の中で暮らしていると思ったのかもしれません。

「四方」だけですべての方向を表すように、「四維」というだけでもすべての方向を表しますが、「四方四維」と言ったほうが詳しく表したことになります。4+4+8ですから四方四維で八方を表すことになりましたが、現国では、四方四維と言わずに四方八方と言うのが一般的ですね。

仏教では更に、これに上方・下方の二方向を足し、十方として表現することが多いようです。東西南北上下で六方、四方四維

上下で十方になります。どちらにしても、「あらゆる方向に仏様が居られる」ことを表現する言葉です。無量寿經に「東方恒沙仏刹南西北方四維上下亦復如是」とあることも紹介しておきましょう。

四方・六方・八方・十方にはいろんな仏様が配置され、更にこれらの仏の守護神が配置されています。今いちいちについてご説明できませんが、一例をあげれば、東南西北には阿修羅・宝相・無量寿・微妙声の仏様とインドラ・ヤマ・ヴァルナ・毘沙門の神様たちが居られるという考えがあります。神様の配置は、ヒンズー教の観念を取り入れたのかもしれないですね。とにかく、私たちを囲むようにして、あらゆる方向から神仏が守っているということですね。

## 【水入り 水の五徳】

大相撲の本場所を想定してください。力士は土俵に上がった時に、清めの儀式として力水をつけてもらいます。さらに、大勝負になった時は、途中で水入りとしますね。これらに「水」が使われるのは、命の元・力の元と考えられているからに他なりません。

水に不思議な力があることは、大昔から認められてきました。私たちに命があるのは、「水あればこそ」でしょう。水は私たちが生かすだけでなく、いろん

な徳を具えています。次に「水の五徳」を紹介いたします。

- ① 常に己の道路を求めて止まざるは水なり
- ② 自ら活動して他を動かすは水なり
- ③ 障害に逢つてその勢力を倍加するは水なり
- ④ 自ら潔くして他の汚濁を洗い清濁併せいるは水なり
- ⑤ 淫々として大海を充たし発しては雲となり雨と変じ凍つては玲瓏たる氷雪と化し其の性を失わざるは水なり

いろんなものの五つの徳を数えて五徳とすることは、釈迦・孔子以来行われてきましたが、「水の五徳」は右記のようになるのだそうです。

「水の五徳」の作者は戦国時代の武将だった黒田如水だとする説もありますが、それでは新しい話すぎるでしょう。群馬県伊香保温泉は、水澤寺の本尊・千手観音の「方便の出湯」だとされていますね。飛鳥時代の創建になるこの寺が五徳山水園寺と名乗るのは、正に「水の五徳」に由るのだそうです。

いずれにしても、水は、私たちに生きる力を与えてくれる掛け替えのない存在です。大いに「水」に学ぼうではありませんか。

## 残したい、心の遺産。

■全日本宗教用具協同組合加盟店  
■伝統工芸士 ■一級木造技能士

■白根仏壇協同組合加盟店  
■一級石佛技師

■全国仏教墓塔研究会会員

■日本石材産業協会会員

■一級土木施工管理技士

■一級お墓ディレクター在籍

■仏事コーディネーター在籍

**福宝**

白根店 Tel. 025-362-1657  
新潟店 Tel. 0254-28-3455  
新潟店 Tel. 025-275-7712  
新潟店 Tel. 0259-63-4588  
五反田店 Tel. 0250-43-5500  
新三島店 Tel. 0256-61-5757  
長岡店 Tel. 0258-86-7670

新潟店 Tel. 0257-32-2511  
新潟店 Tel. 025-781-6550  
上越店 Tel. 025-522-8600  
糸魚川店 Tel. 025-552-2916  
仏壇工場 Tel. 025-362-1666  
石材工場 Tel. 025-362-3434

## 本物と未来へ 伝統技術の専門メーカー

仏壇・墓石・神輿

**TOA トーア 株式会社**

☎ 0120-00-1930 FAX. (0258)21-3830

本社／新潟県長岡市寺島町817

長岡本店 (0258) 28-1930  
長岡本町店 (0258) 33-1930  
新潟竹尾店 (025) 272-1930  
上越店 (025) 522-0139  
南魚沼店 (025) 772-8193  
中之島工場 (0258) 66-6193  
石材工場 (0258) 27-2113

## 県仏加入 地域仏教会の紹介

秋葉区仏教会長 目黒英章

新潟市にある秋葉区仏教会は、市町村合併の歴史により、過去3回ほど名称変更をして参りました。その度に活動内容が多少変わって来ましたが、事実です。

昭和29年に「新潟市仏教会」として始まり、平成17年には、新潟市の新潟合併に伴い「新潟仏教会」と改称、「新潟市仏教連合会」に参加させて頂いてきました。そして平成20年には、

新潟市の区割り行政に合わせて現在の「秋葉区仏教会」と称することに落ち着いた次第です。

現在の加入寺院は36ヶ寺ですが、これは旧新潟市内寺院数と同数であり、今後も区内全域より会員寺院を募りながら、当仏教会の活動を継続して参りたいと思っております。寺院住職の後継問題も含むのかもしれませんが、住職不在の寺院が増えている所から、未加入である秋葉区内御寺院に、御加入をお願いしているところでもあります。

当仏教会の主な活動と致しま

しては、(1)秋葉山平和塔花まつり並びに戦没者慰霊法要(毎年4月中旬土曜日)、(2)秋葉区内2ヶ所の特別養護老人施設への出張法要(春秋彼岸と盂蘭盆)

(3)秋葉区内4ヶ所の老人施設への出張法話会(毎月一回有志による)、(4)放送局エフエム新潟でのラジオ法話(週一回土曜日10時より)、(5)斎場を考える市民の会との連携による新潟斎場焼骨供養会実施など、いろいろな事を年間恒例行事として務めております。

今後、行政区単位の組織作りという観点から、当仏教会の有り方も幾度目かの変革が予想されます。しかし従来通り、仏教同様に寄り合い、秋葉区伝統の行事を守りながら、柔軟に対応できましよう、会員一同務めてまいりたいと思っております。

新潟県仏教会所属の皆様には是非、信田の御指導・御法受を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



## 「無縁社会」への働きかけ

県仏事務局員 加藤道修

「無縁社会」は、他者との関係の薄い、現代特有の現象である。人は、互いに助け合い関わり合う中で、初めて生存できる。近年顕著になった高齢者などの単身化は、非常に閉鎖的であり、孤立の苦しみを想起させる。

現代では、家族・地域・会社との縁を失えばたちまち孤立になり、誰に頼ることもできない。確かに、何らかの縁に属せば、何か困ったときに扶助してもらえる安心感はある。

しかし、一見緩和な信頼関係であっても、内実は不自由さを感じる人も多い。そのため、集団に属さず、個人として生きようとする人が増え続けている。とはいえ、その生き方は決して一生甘美であり続けることにはない。晩年には、孤独という負の面があることが、顕在化して来たからだ。

だが、果たして、元の社会に戻りたい人がどれだけいるだろうか。無縁化は私たちが望んだ必然であり、後戻りはできない。

不可逆のものである。この時代の潮流を変えることは、もはや誰にもできない。

反面、震災を通じて、地域などの共同体を通じた繋がりは、大きな役割を持つことが改めて明確になった。人と人との繋がりは、生存の基本である。

無縁社会は、今始まったばかりである。こうした社会の中にあって、大方の日本人は、今後益々、孤立化していく。そして、必然たる死への漠然とした不安を、抱え込むことであろう。自己の内面の問題が、鮮明に浮き彫りになり、直面することになる。それを解決するのは、国や社会ではない。本質論は、仏教にある。

人生の苦とは、生老病死である。人は誰りで生まれ、誰りで死ぬ。広義で言えば「無縁なわれ縁がない」とは、仏教に接する機会がないことを意味するのではない。仏教界は、仏教との縁・接点を与える布教活動に積極的に取り組むべきである。それが何より、混迷を堪える人々への一助となるはずである。仏教者の活動の意義は、とても大きく深い。

お通夜・ご葬儀会場に…

## さつきホール さつき会館

株式会社くみあい企画

●24時間常時受付

新潟市秋葉区新津東町1丁目318番地1

0120-409832

Tel. 0250(24)0983・Fax 0250(24)9236



親切とやすらぎの心を育む

## 鈴木佛壇店

白根本店/〒950-1223 新潟市南区白根日の出町10-8

TEL (025)373-4156(内) FAX 373-4157

営業時間 AM9:00~PM8:00

http://www.suzukibutsudan.co.jp/

新築田店/新潟市城北町2丁目9-18 TEL (0254)22-1020

長瀬店/長瀬市古正寺字新田637-1 TEL (0258)29-6400

小針店/新潟市西区小針4丁目5-13 TEL (025)233-3135

竹尾店/新潟市東区はなみずき2丁目9-22 TEL (025)279-1237

阿賀野店/阿賀野市庄ヶ窪662-17 TEL (0250)82-8890

五泉店/五泉市栗島634-4 TEL (0250)45-3668

■全店駐車場完備しております。お気軽にご来店下さい。